

## 4 消防本部のあゆみ

- 平成7年3月に消防庁より「平成6年度モデル広域消防」の指定を受け、平成10年6月に朝霞地区一部事務組合議会に広域消防の受入れに伴う消防関係条例等を上程、可決する。
- 平成10年10月 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部が1本部4消防署4分署、職員数390人で発足する。初代消防長に浅賀正一氏が就任する。
- 12月 埼玉県南西部消防音楽隊が、朝霞市消防本部音楽隊と新座市消防本部音楽隊の隊員19人（職員16人、他3人）で発足する。
- 平成11年2月 志木消防署のはしご付消防ポンプ自動車（38m級）を更新し、志木はしご1（30m級）として配置する。
- 6月 本部指令車の南西指令4を廃車する。
- 9月 朝霞消防署の機材車を更新し、朝霞機材1として配置する。
- 11月 埼玉県南西部消防本部5か年整備計画を策定する。
- 平成12年2月 朝霞消防署の指揮車を更新し、朝霞警防1として配置する。
- 4月 消防職員の定数を409人に改める。  
和光消防署を移転し、所在地が和光市広沢1番3号となる。
- 12月 国際消防救助隊に登録される。  
和光消防署の消防ポンプ自動車を更新し、和光1（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 平成13年2月 新座消防署の救助工作車を更新し、新座救助1（II）として配置する。（国庫補助）
- 3月 和光消防署白子分署の救急車を更新し、白子救急1として配置する。（国庫補助）
- 4月 埼玉県消防長会警防技術部会の部会長に消防長が就任する。  
消防本部の機構改革により消防総務課3係を2係（消防係・庶務企画係）とする。
- 9月 志木消防署の指令車（志木広報1）を更新し、志木指令2として配置する。
- 11月 朝霞消防署の救急車を更新し、朝霞救急1として配置する。（国庫補助）
- 12月 消防本部の指令車を更新し、南西指令1として配置する。  
新座消防署片山分署の消防ポンプ車を更新し、片山1（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 平成14年1月 和光消防署の指令車を更新し、和光指令1として配置する。
- 2月 新座消防署片山分署の救急車を更新し、片山救急1として配置する。（国庫補助）  
和光消防署の機材車を更新し、和光機材1として配置する。
- 4月 消防本部の機構改革により救急課を新設する。
- 8月 新座消防署の指令車を更新し、新座指令1として配置する。
- 平成15年2月 新座消防署の救急車を更新し、新座救急1として配置する。（防衛庁補助）  
朝霞消防署の化学消防ポンプ自動車を日本損害保険協会の寄贈事業を受け、朝霞化学1（II）として配置する。
- 3月 志木消防署の救急車を更新し、志木救急1として配置する。（国庫補助）全救急車両が高規格となる。  
志木消防署の消防ポンプ自動車を更新し、志木1（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 5月 国際消防救助隊員2人（金子消防司令補、大塚消防士長）をアルジェリア地震災害へ派遣する。
- 8月 志木消防署の指令車を更新し、志木指令1として配置する。
- 9月 志木消防署の機材車を更新し、志木機材1として配置する。
- 11月 和光消防署の救急車を更新し、和光救急1として配置する。（国庫補助）
- 平成16年2月 和光消防署のはしご付消防ポンプ自動車（38m級）を屈折はしご付消防自動車（20m級）へ更新し、和光はしご1として配置する。（国庫補助）  
和光消防署の化学消防ポンプ自動車を更新し、和光化学1（II）として配置する。（防衛庁補助）
- 4月 第2代消防長に倉根雄一氏が就任する。  
消防本部予防課に査察指導係を新設する。  
消防本部予防課に火災調査担当を配置する。

## 8 消防本部の概況

- 7月 緊急消防援助隊（消火隊、救急隊各1隊、計2隊）を新潟・福島豪雨災害へ派遣する。
- 10月 消防職員の定数を424人に改める。  
緊急消防援助隊（消火隊、救助隊、救急隊、後方支援隊各1隊、計4隊）を新潟中越地震災害へ派遣する。
- 平成17年2月 朝霞消防署の水槽付消防ポンプ自動車を消防ポンプ自動車へ更新し、朝霞1（CD-I）として配置する。  
新座消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新し、新座1（水IA）として配置する。（防衛庁補助）
- 3月 志木消防署の救急車を更新し、志木救急2として配置する。（県費補助）  
新座消防署大和田分署の救急車を更新し、大和田救急1として配置する。（県費補助）
- 4月 埼玉県南西部消防本部第2次5か年整備計画を策定する。
- 12月 消防本部の指令車を更新し、南西指令2として配置する。
- 平成18年2月 朝霞消防署浜崎分署の救急車を更新し、浜崎救急1として配置する。
- 3月 新座消防署の機材車を更新し、新座機材1として配置する。（県費補助）
- 4月 第3代消防長に横山博氏が就任する。
- 12月 朝霞消防署浜崎分署の消防ポンプ自動車を更新し、浜崎1（CD-II）として配置する。（防衛庁補助）
- 平成19年12月 和光消防署白子分署の救急車を更新し、白子救急1として配置する。（国庫補助）  
新座消防署の消防ポンプ自動車を更新し、新座2（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 平成20年10月 消防本部発足10年を迎える。
- 12月 新座消防署片山分署の救急車を更新し、片山救急1として配置する。（国庫補助）  
朝霞消防署の指令車を更新し、朝霞指令1として配置する。
- 平成21年1月 朝霞消防署の救急車を更新し、朝霞救急1として配置する。（防衛省補助）
- 2月 高機能消防指令センター（Ⅲ型）の仮運用を開始する。  
指令業務の1局化により、指令第1課及び第2課を廃止し、新たに指令統括課を新設する。
- 3月 消防本部発足10周年記念式典を開催する。
- 3月 高機能消防指令センター（Ⅲ型）の本運用を開始する。（国庫補助）
- 4月 第4代消防長に柴崎健司氏が就任する。  
消防本部の機構改革により消防総務課2係を3係（総務係・管理係・職員係）とし、予防課に火災調査係を新設する。  
新座消防署に救急活動支援センターを設置する。
- 12月 和光消防署の庁舎を新築、移転する。住所変更なし。
- 平成22年1月 新座消防署のはしご付消防自動車（30m級）を屈折はしご付消防自動車（15m級）へ更新し、新座はしご1として配置する。（国庫補助）
- 3月 消防本部の指揮車を更新し、南西本部1として配置する。
- 4月 埼玉県南西部消防本部第3次5か年整備計画を策定する。
- 7月 朝霞消防署浜崎分署の指令車を更新し、浜崎指令1として配置する。
- 8月 和光消防署白子分署の指令車を更新し、白子指令1として配置する。
- 平成23年1月 和光消防署の救助工作車を更新し、和光救助1として配置する。（防衛省補助）  
新座消防署の救急車を更新し、新座救急1として配置する。
- 3月 緊急消防援助隊（消火隊、救助隊、救急隊、後方支援隊各1隊、計4隊）を東日本大震災第1次隊として岩手県陸前高田市内へ派遣し、第5次隊（延べ13隊）まで派遣する。3月31日（木）活動終了。
- 4月 埼玉県消防協会朝霞支部の事務局が消防本部へ移管される。
- 10月 和光消防署の救急車を更新し、和光救急1として配置する。
- 平成24年2月 朝霞消防署の救助工作車を更新し、朝霞救助1として配置する。（国庫補助）
- 4月 第5代消防長に越阪部修氏が就任する。
- 10月 朝霞消防署に高度救助隊が発足する。  
志木消防署の救急車を更新し、志木救急1として配置する。
- 11月 新座消防署大和田分署の消防ポンプ自動車を更新し、大和田1（CD-I）として配置する。

- 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部イメージキャラクターを「けんなん君となんせいちゃん」とする。
- 平成25年 12月 志木消防署の消防ポンプ自動車を更新し、志木2（CD-II）として配置する。
- 平成25年 7月 新座消防署大和田分署の指令車を更新し、大和田指令1として配置する。
- 10月 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部イメージキャラクター「けんなん君」着ぐるみが完成する。
- 11月 和光消防署の消防ポンプ自動車を更新し、和光1（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 新座消防署大和田分署の救急車を更新し、大和田救急1として配置する。（国庫補助）
- 平成26年 12月 志木消防署の救急車を更新し、志木救急2として配置する。（国庫補助）
- 平成26年 1月 株式会社丸沼倉庫から地震体験車が寄贈され、「けんなん君号」として配置する。
- 3月 消防救急デジタル無線整備のため、新座消防署に50メートルの無線鉄塔を建設する。消防救急デジタル無線整備工事が完了し、正式運用を開始する。（国庫補助）
- 総務省消防庁から指揮支援車が貸与され、南西指揮支援1として配置する。（総務省消防庁無償使用）
- 4月 第6代消防長に福田真一氏が就任する。
- 8月 新座消防署片山分署の指令車を更新し、片山指令1として配置する。
- 9月 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部イメージキャラクター「なんせいちゃん」着ぐるみが完成する。
- 11月 朝霞消防署の救急車を更新し、朝霞救急1として配置する。
- 朝霞消防署浜崎分署の救急車を更新し、浜崎救急1として配置する。（国庫補助）
- 12月 新座消防署片山分署の消防ポンプ自動車を更新し、片山1（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 平成27年 4月 朝霞地区一部事務組合消防計画を策定する。
- 埼玉県南西部消防本部第4次5か年整備計画を策定する。
- 10月 和光消防署白子分署の救急車を更新し、白子救急1として配置する。（国庫補助）
- 11月 新座消防署片山分署の救急車を更新し、片山救急1として配置する。
- 消防本部の指令車を更新し、南西指令1として配置する。
- 平成28年 1月 新座消防署の救助工作車を更新し、新座救助1として配置する。（国庫補助）
- 4月 消防本部の機構改革により、統括監を新設する。
- 消防本部の機構改革により、予防課4係を3係（予防係・査察指導係・火災調査係）とする。
- 朝霞消防署高度救助隊が埼玉県特別機動援助隊（埼玉SMART）に登録される。
- 10月 新座消防署の救急車を更新し、新座救急1として配置する。
- 11月 志木消防署の消防ポンプ自動車を更新し、志木1（CD-I）として配置する。（国庫補助）
- 平成29年 2月 志木消防署の機材車を更新し、志木機材1として配置する。
- 4月 第7代消防長に高橋満氏が就任する。
- 9月 国際消防救助隊員1人（平井消防司令補）をメキシコ地震災害へ派遣する。
- 10月 N E T119緊急通報システムの運用を開始する。
- 12月 和光消防署の救急車を更新し、和光救急1として配置する。
- 平成30年 1月 朝霞消防署のはしご付消防自動車（38m級・地上高40m）を更新し、東日本初となるはしご付消防自動車（38m級・地上高54m）を朝霞はしご1として配置する。（国庫補助）
- 10月 消防本部発足20年を迎える。
- 志木消防署に水難救助隊が発足する。
- 11月 志木消防署の救急車を更新し、志木救急1として配置する。（国庫補助）
- 12月 和光消防署の指令車を更新し、和光指令1として配置する。
- 新座消防署の指令車を更新し、新座指令1として配置する。
- 平成31年 1月 志木消防署のはしご付消防自動車（30m級）をはしご付消防自動車（30m級）へ更新し、志木はしご1として配置する。
- 4月 第8代消防長に渋谷正彦氏が就任する。
- 令和元年 7月 消防職員の定数を440人に改める。

## 10 消防本部の概況

- 11月 朝霞消防署の消防ポンプ自動車を更新し、朝霞1として配置する。(国庫補助)
- 令和2年1月 朝霞消防署の救急車を更新し、朝霞救急1として配置する。  
朝霞消防署浜崎分署の救急車を更新し、浜崎救急1として配置する。(国庫補助)
- 4月 埼玉県南西部消防本部第5次5か年整備計画を策定する。  
朝霞消防署浜崎分署に救急第2係を新設する。  
朝霞消防署浜崎分署に救急車を浜崎救急2として配置する。(防衛省補助)